

予の真作  
玉子画



廿三編下



かみ

ぬい毛の

特  
〜 13  
1178  
46

〜 毛



廿三編上

廿三編下

特  
〜 13  
1178  
45

甲







一  
三

小題曲五十四

廿三編上

へ 13  
1178  
45

甲





1178  
45

# 白縫譯

第廿三  
編上集

種員

作

國貞

画

柳

文庫

短綆不汲深とい唐土人の常言なるふ當今俗間を唄小歌ふちあはれ  
 けるべのまぶらうのあふ君の心とくみよるとりる唱哥を聞時の倭も  
 濂も人情づらぬ暗合のまら妙あらとやされを短綆不深井とぬ  
 廣大筑紫の蒼海とらまかや此あぬひの物語初編を刊行  
 形と脱灘右門と楠姫老樹といつる巻中ふ未ぬ人物と若菜姫の天人姿  
 と並立歌舞并のそれあぬ戯場めつせし首画と出像讚歎的といを  
 漢土の常言と倭朝の小唄の唱歌の暗合と弥増妙と端詞小記つ

安政丁巳華藏

## 柳下亭種員



つらぬ八七三





























三笠山 豊田  
大蛇川  
大不知火  
待兼山  
人見川



三笠山 豊田  
大蛇川  
大不知火  
待兼山  
人見川









右の如く  
三

九





備書

# 浪運黄金鮓

朝霞楼より我画

三編讀切

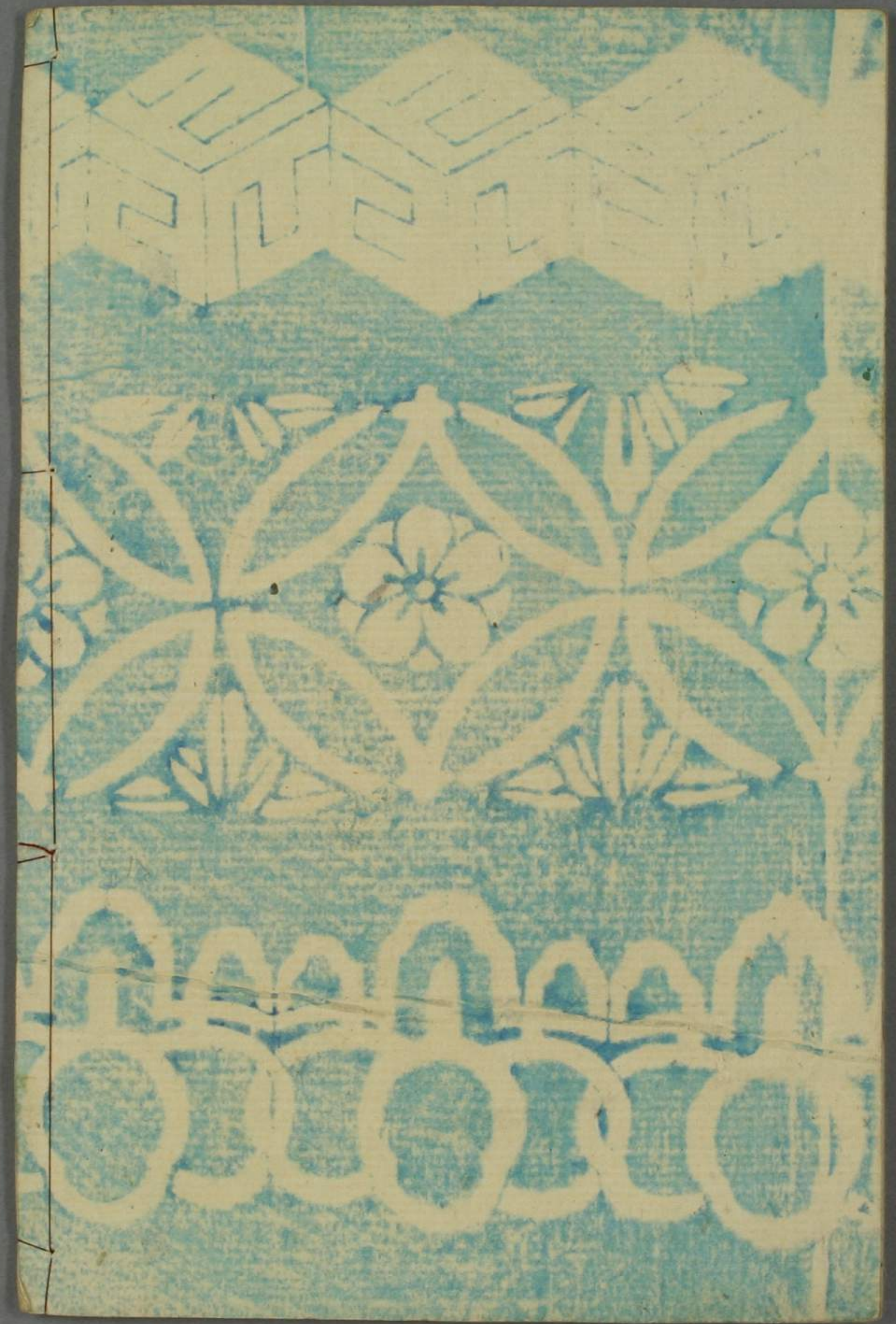
小舟舟有  
 惠齋  
 梅紫  
 松湖  
 假名通  
 河竹  
 其音  
 水文  
 來魚  
 人我  
 舟

一、封書、因、其作、刺場、二、様、竹、林、三、七、軒、八、一、回、五、葉、を、持、さ、り、の、  
 合、作、全、備、の、三、編、冊、切、編、五、丁、也、其、水、作、同、十、丁、也、有、人、作、同、十、丁、也、交、來、作、  
 同、十、丁、也、如、泉、作、同、二、編、五、丁、也、曾、文、作、同、十、丁、也、芳、義、作、同、十、丁、也、其、水、同、十、丁、也、有、人、  
 三、編、五、丁、也、十、丁、也、同、十、丁、也、如、泉、同、十、丁、也、曾、文、同、十、丁、也、其、水、同、十、丁、也、其、水、如、斯、小、持、場、故、  
 定、一、豆、草、力、を、使、し、写、當、藏、板、の、あ、り、ぬ、以、同、様、高、評、一、布、ふ、

地を草紙の度

江戸川、佐、賀、助、様、  
 廣、園、齋、助、様、







ぬい色の

あふり

千の真作  
玉七の画

廿三編下



特  
 ^ 13  
 1178  
 46









































月夜

十一

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a poem or commentary related to the illustration. The text is densely packed and follows the contours of the scene.



月夜

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a poem or commentary related to the illustration. The text is densely packed and follows the contours of the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a poem or commentary related to the illustration. The text is densely packed and follows the contours of the scene.

Handwritten Japanese text in a cursive style at the bottom of the illustration.



種員作



志のぬいし禪

五編三十一惠蔵寺藏書  
 六十編三十一惠蔵寺藏書  
 作

兩面織花田物語

初編五編  
 山五編  
 作

假名漢八六傳

千編假名漢善文録  
 二十五編六朝露樓上方券至  
 作

古今似顔大全

故典皇國羽筆  
 大錦 日土香結  
 作

太平記英勇傳

中 錦山々身有人記  
 百番續 忠貞齋方張圖  
 作



